

## KJ法コンサルティング (2日間～)

No. 351

問題解決ワークショップ(問題提起篇)

### 目的

現状を「客観的」に見つめるための情報収集(会議)を行う  
情報を「統合」し、新しい意味を発見するプロセスを体験する  
漠然とした状況から、問題提起を行う

### 特長

バイアス(先入観)を排除して、データをして語らしめる技術  
今話題の「アブダクション」(仮説法)を体験

### 対象

一般社員・職員～あらゆる職種・階層  
(最適人数 6名～最大 18名程度)



### Table of Contents [DAY1] (Total 6H ~ 7.5H)

<b>イントロダクション</b> 研修体系における本セミナーの位置づけと役割 セミナーの目的、内容、進め方およびゴール
<b>1 KJ法概要</b>
問題解決とは？ KJ法の技術とは？
<b>2 参画的ブレイン・ストーミング</b>
ブレイン・ストーミングとは？ ブレイン・ストーミングの問題点 パルス討論(探検ネット)で、参画的に意見交換 メンバー全員で共通認識
<b>3 KJ法の実践1. ラベル作り～ラベルの傾聴</b>
ラベル作り ラベルに耳を傾ける
<b>4 KJ法の実践2. グループ編成</b>
ラベル集め 表札づくり
振り返りとまとめ 本日の反省点および達成度の確認 質問

### [DAY2] (Total 6H ~ 7.5H)

<b>イントロダクション</b> 前日の振り返り 本日のセミナーの目的、内容、進め方およびゴール
<b>1 KJ法の実践2. グループ編成(続き)</b>
ラベル集め 表札づくり
<b>2 KJ法の実践3. 図解化</b>
空間配置 島どり 関係線 シンボルマーク
<b>3 KJ法の実践4. 叙述化</b>
ストーリーづくり 現状認識 問題提起 今後の方向性
<b>4 発表と意見交換</b>
共通認識の確認 建設的意見交換
振り返りとまとめ 反省点および達成度の確認